

# 福岡在宅医療 事始め ～さあ始めよう在宅医療～

## 福岡県における在宅医療の現況

福岡県医師会  
常任理事 辻 裕二  
令和7年2月8日

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

# 第8次医療計画における 厚生労働省 ひと、暮らし、みらいのために Ministry of Health, Labour and Welfare 在宅医療の体制整備について

## 第1回 在宅医療シンポジウム

「在宅医療が支える暮らし～住み慣れた地域の中で～」

2024年3月20日（水）

厚生労働省医政局地域医療計画課

医師確保等地域医療対策室

外来・在宅医療対策室

室長 谷口 倫子

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

## 第8次医療計画の策定に向けた検討体制

- 第8次医療計画の策定に向け、「第8次医療計画等に関する検討会」を立ち上げて検討。
- 現行の医療計画における課題等を踏まえ、特に集中的な検討が必要な項目については、本検討会の下に、以下の4つのワーキンググループを立ち上げて議論。
- 新興感染症等への対応に関し、感染症対策（予防計画）に関する検討の場と密に連携する観点から、双方の検討会・検討の場の構成員が合同で議論を行う機会を設定。



[出典]第1回在宅医療及び医療介護連携に関するWG(令和3年10月13日) 31

令和6年度第1回医療政策研修会	資料
令和6年10月10日	1

## 地域医療構想について

令和6年度第1回医療政策研修会

厚生労働省医政局地域医療計画課

医師確保等地域医療対策室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

## 2040年に求められる医療機関機能（イメージ）

高齢者救急の受け皿  
となり、地域への復  
帰を目指す機能

かかりつけ医等と連携し、増大す  
る高齢者救急の受け皿となる機能

在宅医療を提供し、地  
域の生活を支える機能

地域での在宅医療を実施し、緊急  
時には患者の受け入れも行う機能

救急医療等の急性期  
の医療を広く提供す  
る機能

高度な医療や広く救急への対応  
を行う機能（必要に応じて圏域  
を拡大して対応）

地域ごとに求められる医療提供機能

医師の派遣機能

医育機能

より広域な観点で診療を  
担う機能

より広域な観点から、医療提供体制を維持するために求められる機能

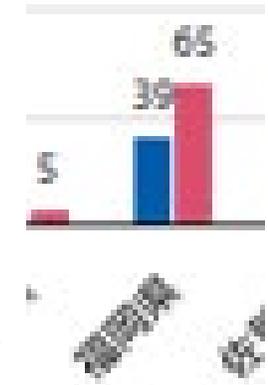
# 福岡県における

在宅医療（訪問診療）の現況

在宅医療の中心は訪問診療

# 訪問診療の将来需要と現下の供給実績について

都道府県別に、2020・2025・2030・2035・2040年度における訪問診療の将来需要を推計し、在宅患者訪問診療料のレセプト件数が最大となる年度の需要と2019年度における当該件数の実績値とを比較した。



【出典】  
 - 受療率：NDBデータ（2019年度診療分）、住民基本台帳に基づく人口（2020年1月1日時点）  
 - 集計項目：在宅患者訪問診療料（Ⅰ）及び（Ⅱ）のレセプト件数/月  
 - 推計：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」（出生中位・死亡中位仮定）  
 ※将来推計患者数＝将来推計人口（性・年齢・二次医療圏別）×受療率（性・年齢・当該都道府県別）



## 1 目的

- ・本県の在宅医療の現状等を把握し、在宅医療にかかる連携体制構築の進捗状況の評価を行う。
- ・過去の調査結果と比較し、課題を分析することで、保健医療計画や在宅医療の推進に反映させる。

## 2 調査実施日

令和6年7月19日

## 3 調査対象と回収率

令和6年7月1日現在、九州厚生局に以下の届出を行っている県内の医療機関(1,362か所)を対象とした。

・在宅療養支援診療所	779か所	(回収数 762か所)	回収率 97.8%
・在宅療養支援病院	125か所	(回収数 124か所)	回収率 99.2%
・在医総管(診療所・病院)	458か所	(回収数 430か所)	回収率 93.9%

※在医総管は県内の在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料届出施設のうち、在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院の届出を行っていない施設

※在医総管は、平成29年度から調査対象としている。

# 令和5年度 在宅医療(訪問診療)調査 概要

二次 保健医療圏	人口	医療機関数		医師数(常勤換算)			訪問診療患者数(1か月間)			在宅看取り患者数(1年間)			回収率
		医療 機関数	圏域内 人口比率 (対10万人)	医師数	医師数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)	訪問診療 患者数	訪問診療 患者数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)	看取り 患者数	看取り 患者数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)	
福岡・糸島	1,685,100	401	23.8	571	595	35.3	17,824	18,145	1076.8	2,456	2,489	147.7	94.8%
粕屋	294,908	50	17.0	68	70	23.8	1,154	1,170	396.8	249	256	86.7	94.0%
宗像	165,800	32	19.3	43	43	25.9	1,421	1,421	857.1	272	272	164.1	100.0%
筑紫	443,552	69	15.6	117	121	27.4	2,719	2,799	631.0	408	425	95.8	94.2%
朝倉	83,048	37	44.6	49	49	59.4	571	571	687.6	79	79	95.1	100.0%
久留米	452,650	160	35.3	192	198	43.8	3,627	3,697	816.8	924	939	207.5	96.3%
八女・筑後	129,712	45	34.7	64	68	52.4	779	805	620.6	318	321	247.7	93.3%
有明	207,084	73	35.3	105	107	51.5	1,595	1,621	782.6	322	327	157.7	97.3%
飯塚	174,328	40	22.9	64	68	39.2	1,715	1,808	1036.8	485	486	278.5	97.5%
直方・鞍手	104,692	35	33.4	42	43	40.9	1,355	1,360	1299.5	190	191	182.3	97.1%
田川	118,648	28	23.6	34	35	29.5	931	941	793.4	74	76	63.8	96.4%
北九州	1,061,069	323	30.4	410	438	41.3	9,453	10,274	968.3	1,888	2,088	196.8	92.0%
京築	184,330	36	19.5	52	52	28.2	810	810	439.4	336	336	182.3	100.0%
<b>福岡県</b>	<b>5,104,921</b>	<b>1,329</b>	<b>26.0</b>	<b>1,810</b>	<b>1,888</b>	<b>37.0</b>	<b>43,954</b>	<b>45,422</b>	<b>889.8</b>	<b>8,001</b>	<b>8,284</b>	<b>162.3</b>	<b>94.9%</b>

# 令和6年度 在宅医療(訪問診療)調査 概要

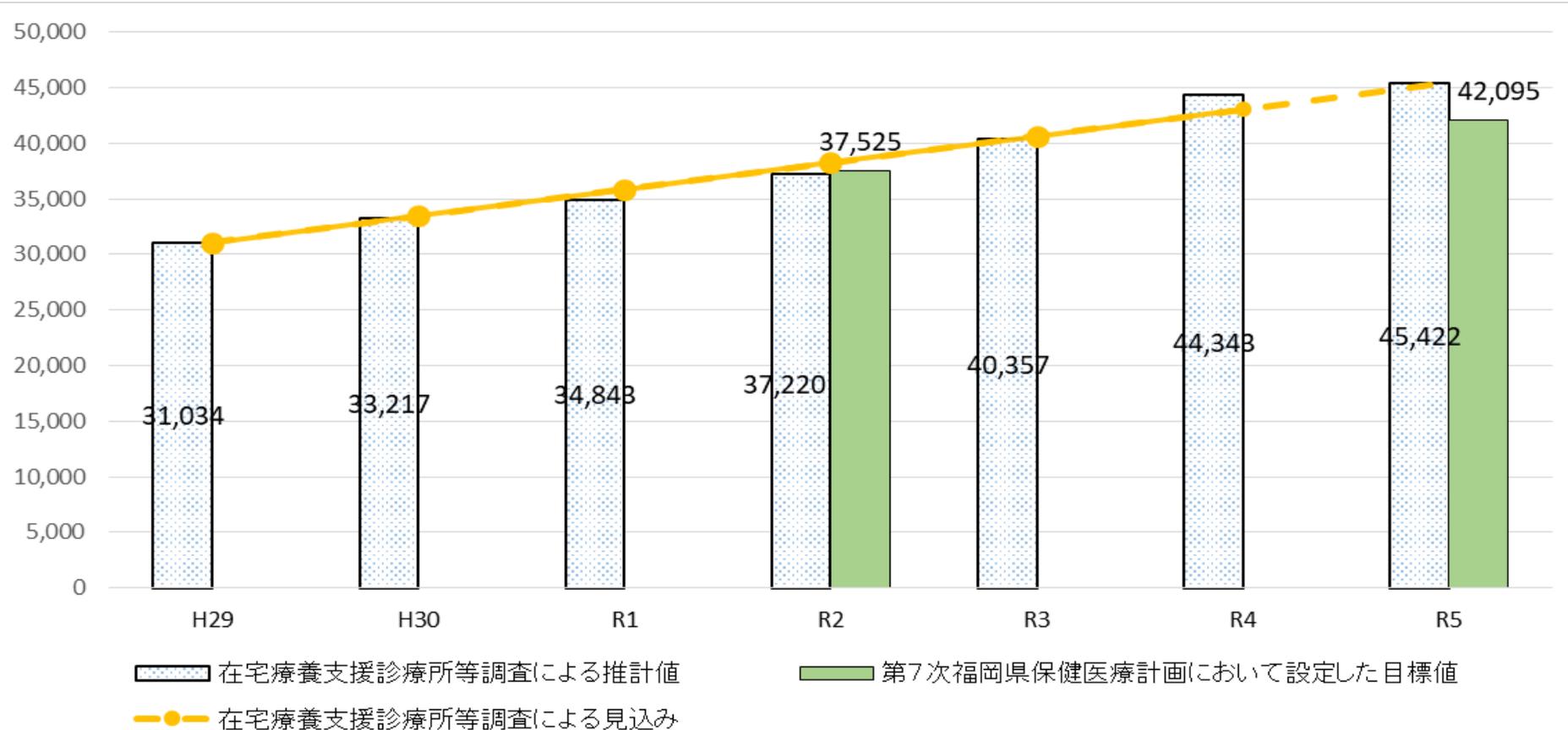
二次 保健医療圏	人口	医療機関数		医師数(常勤換算)			訪問診療患者数(1か月間)			在宅看取り患者数(1年間)			回収率
		医療 機関数	圏域内 人口比率 (対10万人)	医師数	医師数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)	訪問診療 患者数	訪問診療 患者数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)	看取り 患者数	看取り 患者数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)	
福岡・糸島	1,697,752	421	24.8	630	654	38.5	20,853	21,721	1279.4	2,479	2,584	152.2	95.7%
粕屋	294,610	49	16.6	67	67	22.8	1,113	1,116	378.8	208	210	71.3	98.0%
宗像	165,858	36	21.7	50	53	32.0	1,445	1,450	874.2	253	254	153.1	94.4%
筑紫	443,146	67	15.1	95	99	22.3	3,005	3,143	709.3	446	475	107.2	95.5%
朝倉	82,853	35	42.2	48	48	58.1	518	518	625.2	75	75	90.5	100.0%
久留米	450,391	161	35.7	216	221	49.0	3,755	3,897	865.2	883	918	203.9	98.1%
八女・筑後	128,614	44	34.2	58	60	46.5	829	834	648.4	357	358	278.1	95.5%
有明	203,872	71	34.8	115	115	56.6	1,706	1,713	840.0	282	283	138.7	98.6%
飯塚	172,764	42	24.3	67	69	40.1	1,877	1,895	1096.8	455	457	264.5	95.2%
直方・鞍手	103,718	34	32.8	37	37	35.8	1,180	1,180	1137.7	147	147	141.7	100.0%
田川	116,886	30	25.7	37	37	31.9	1,117	1,117	955.6	79	79	67.6	100.0%
北九州	1,051,843	336	31.9	436	449	42.7	11,279	11,583	1101.2	1,996	2,056	195.5	95.8%
京築	183,072	36	19.7	56	56	30.3	1,035	1,035	565.4	278	278	151.9	100.0%
福岡県	5,095,379	1,362	26.7	1,912	1,965	38.6	49,712	51,201	1004.9	7,938	8,174	160.4	96.6%

# 令和6年度 訪問診療調査結果と一般病床数

二次 保健医療圏	人口	医療機関数		医師数(常勤換算)			訪問診療患者数(1ヵ月間)			病床数	在宅看取り患者数(1年間)		
		医療 機関数	圏域内 人口比率 (対10万人)	医師数	医師数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)	訪問診療 患者数	訪問診療 患者数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)	2025年	看取り 患者数	看取り 患者数 (全数推計)	圏域内 人口比率 (対10万人)
福岡・糸島	1,697,752	421	24.8	630	654	38.5	20,853	21,721	1,279	18,913	2,479	2,584	152
粕屋	294,610	49	16.6	67	67	22.8	1,113	1,116	379	3,254	208	210	71
宗像	165,858	36	21.7	50	53	32.0	1,445	1,450	874	1,483	253	254	153
筑紫	443,146	67	15.1	95	99	22.3	3,005	3,143	709	3,757	446	475	107
朝倉	82,853	35	42.2	48	48	58.1	518	518	625	954	75	75	91
久留米	450,391	161	35.7	216	221	49.0	3,755	3,897	865	7,065	883	918	204
八女・筑後	128,614	44	34.2	58	60	46.5	829	834	648	1,936	357	358	278
有明	203,872	71	34.8	115	115	56.6	1,706	1,713	840	4,090	282	283	139
飯塚	172,764	42	24.3	67	69	40.1	1,877	1,895	1,097	2,718	455	457	264
直方・鞍手	103,718	34	32.8	37	37	35.8	1,180	1,180	1,138	1,079	147	147	142
田川	116,886	30	25.7	37	37	31.9	1,117	1,117	956	1,406	79	79	68
北九州	1,051,843	336	31.9	436	449	42.7	11,279	11,583	1,101	15,893	1,996	2,056	195
京築	183,072	36	19.7	56	56	30.3	1,035	1,035	565	1,673	278	278	152
福岡県	5,095,379	1,362	26.7	1,912	1,965	38.6	49,712	51,201	1,005	64,221	7,938	8,174	160

# 福岡県における訪問診療推移と第7次医療計画時の目標値

・訪問診療患者数(推計値)は年々増加しており、令和5年度(45,422人)は、目標値(42,095人)を上回った。



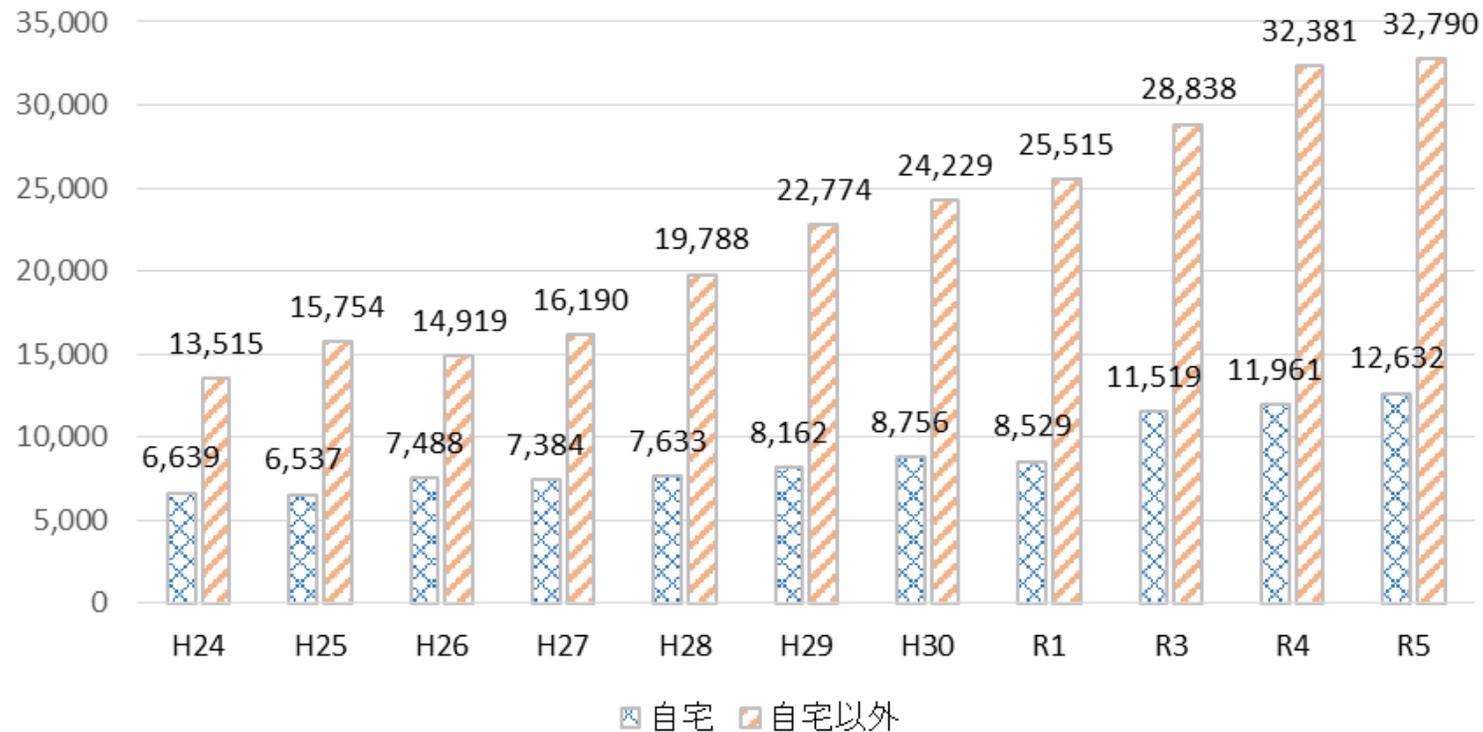
(参考値)  
在宅患者  
訪問診療料 I-2  
R5:1,391人

※「訪問診療患者数」とは、7月の1ヶ月間に訪問診療の算定を行った患者数を指す。(平成29年度、令和2年度は6月、令和5年度は5月の1ヶ月間の患者数を指す。)

※「在宅患者訪問診療料 I-2」とは、他の医療機関の求めに応じ、当該他の医療機関の主治医から紹介された患者に対して行う訪問診療を指す。

# 令和5年度 福岡県における訪問診療患者居所年次推移

- ・自宅への訪問診療患者数は、令和元年度まではわずかな増加傾向だったが、令和3年度に1.4倍に増加した。令和5年度(12,632人)は、令和4年度(11,961人)より、約5.6%増加した。
- ・自宅以外への訪問診療患者数は、平成26年以降、年々増加しているが、令和5年度(32,790人)は、令和4年度(32,381人)より、約1.3%の増加とほぼ横ばいであった。



※推計値

※「訪問診療患者数」とは、7月の1ヶ月間に訪問診療の算定を行った患者数を指す。(平成29年度は6月、令和5年度は5月の1ヶ月間の患者数を指す。)

※無回答の医療機関があるため、各年度の合計人数は訪問診療患者数(推計値)と合わない場合があります。

※「自宅」とは、持ち家や賃貸住宅等のいわゆる自宅を指す。「自宅以外」とは、有料老人ホーム、グループホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、特別養護老人ホーム等を指す。(H24~H28については、サービス付き高齢者向け住宅は「自宅」に含む。)

※R2年度は、未調査

## 訪問診療患者数

	令和5年度 (実数)	令和6年度 (実数)
総数	43,954	49,712
自宅	12,253 (27.8%)	14,641 ( <b>29.4%</b> )
自宅以外	31,701 (72.1%)	35,071 ( <b>70.5%</b> )
小児(19歳以下、実数)	339	577

在宅医療における

医療・介護の圏域

二次医療圏と診療圏

# 福岡県内高齢者関連施設（令和6年5月現在）（福岡県医師会集計）

## 高齢者向け住まい(居住系施設)

	サ高住	軽費老人ホーム(旧A型)	軽費老人ホーム(ケアハウス)	有料老人ホーム(住宅型)	有料老人ホーム(介護付)	介護老人ホーム	グループホーム	小計	令和4年	平成29年
福岡・糸島	3,522	280	1,067	11,044	4,162	357	2,329	22,761	20,167	16,588
粕屋	332	0	177	1,523	449	50	351	2,882	2,750	2,287
宗像	228	0	159	873	326	0	234	1,820	1,827	1,670
筑紫	717	150	160	2,371	991	158	570	5,117	4,604	3,532
朝倉	114	50	80	470	43	0	132	889	843	837
久留米	911	50	405	3,139	553	320	1,383	6,761	6,072	4,433
八女・筑後	255	70	80	681	79	120	378	1,663	1,527	1,327
有明	446	130	180	1,060	351	219	504	2,890	2,602	2,310
飯塚	588	150	218	1,126	357	140	349	2,928	2,648	2,140
直方・鞍手	397	100	292	539	473	130	423	2,354	2,225	2,066
田川	244	0	209	800	344	100	747	2,444	2,333	2,048
北九州	1,683	450	968	6,683	2,891	630	2,532	15,837	14,676	12,568
京築	185	50	190	1,123	765	100	396	2,809	2,616	2,416
合計	9,622	1,480	4,185	31,432	11,784	2,324	10,328	71,155	64,890	54,222

令和4年	9,336	1,480	4,185	27,668	11,860	2,462	10,361
平成29年	8,425	1,480	4,185	19,194	11,594	2,702	9,334

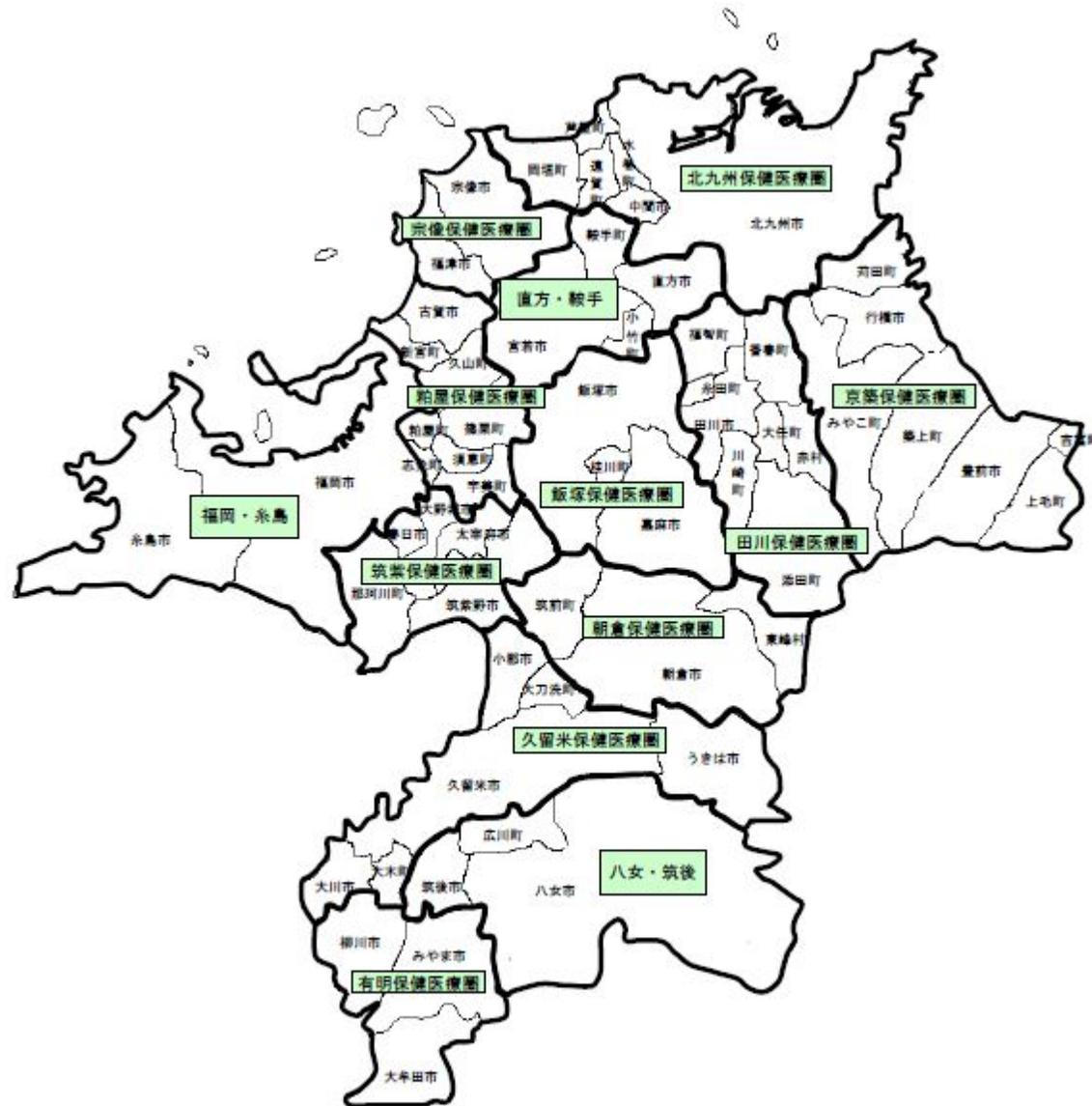
## 介護保険施設

	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム(地域密着型)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(※令和6年3月廃止)	介護医療院	小計	令和4年	平成29年
	6,019	681	2,992	0	771	10,463	10,207	9,894
	850	78	555	0	381	1,864	1,704	1,794
	594	87	350	0	249	1,280	1,202	1,170
	1,163	154	660	0	456	2,433	2,391	1,932
	630	0	528	0	0	1,158	1,158	1,178
	1,310	537	1,270	0	278	3,395	3,401	3,374
	955	29	572	0	48	1,604	1,604	1,614
	1,260	46	1,118	0	229	2,653	2,629	2,642
	1,200	78	790	0	135	2,203	2,174	2,125
	730	0	701	0	121	1,552	1,461	1,334
	1,530	0	720	0	0	2,250	2,357	2,201
	5,803	690	3,349	0	644	10,486	10,454	10,088
	1,008	78	992	0	35	2,113	2,113	2,064
合計	23,052	2,458	14,597	0	3,347	43,454	42,855	41,410

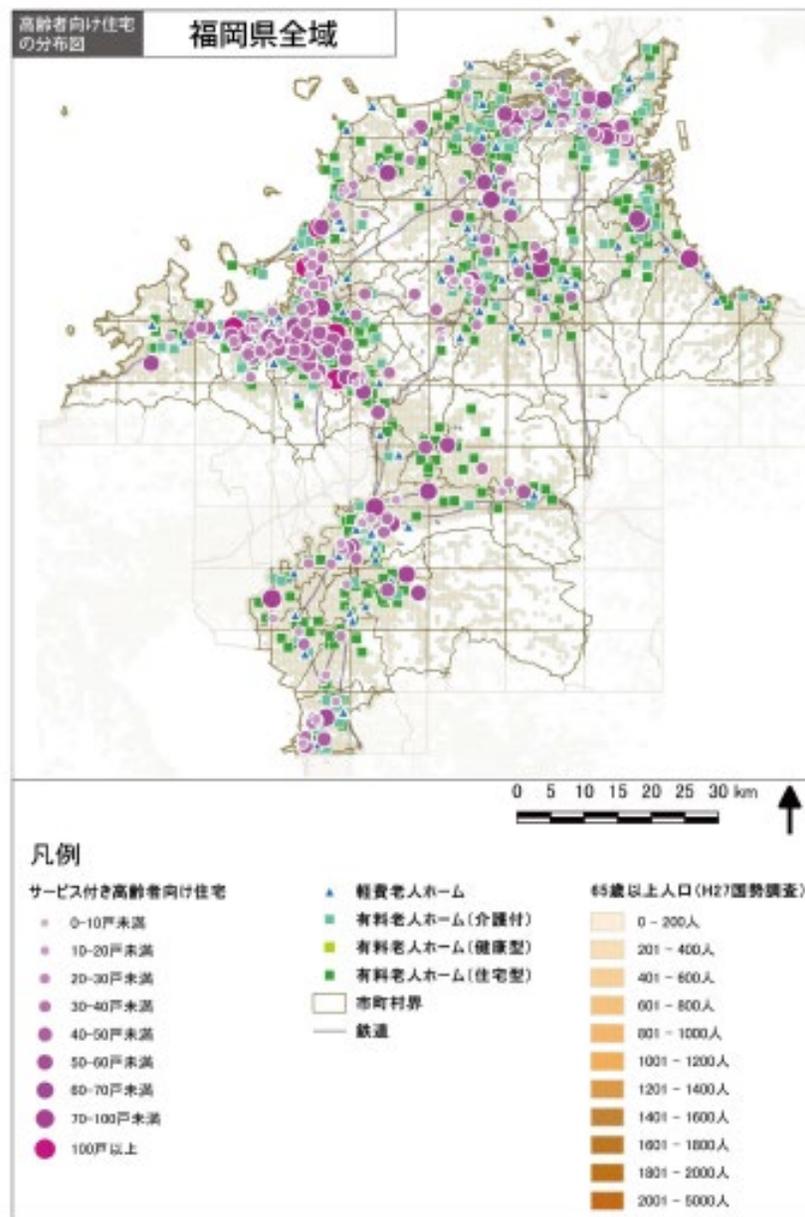
22,567	2,410	14,709	412	2,757
20,990	2,140	14,870	3,410	-

合計	令和4年	平成29年
33,224	30,374	26,482
4,746	4,454	4,081
3,100	3,029	2,840
7,550	6,995	5,464
2,047	2,001	2,015
10,156	9,473	7,807
3,267	3,131	2,941
5,543	5,231	4,952
5,131	4,822	4,265
3,906	3,686	3,400
4,694	4,690	4,249
26,323	25,130	22,656
4,922	4,729	4,480
114,609	107,745	95,632

# 福岡県における二次医療圏



# 福岡県における高齢者向け住宅分布 平成29年

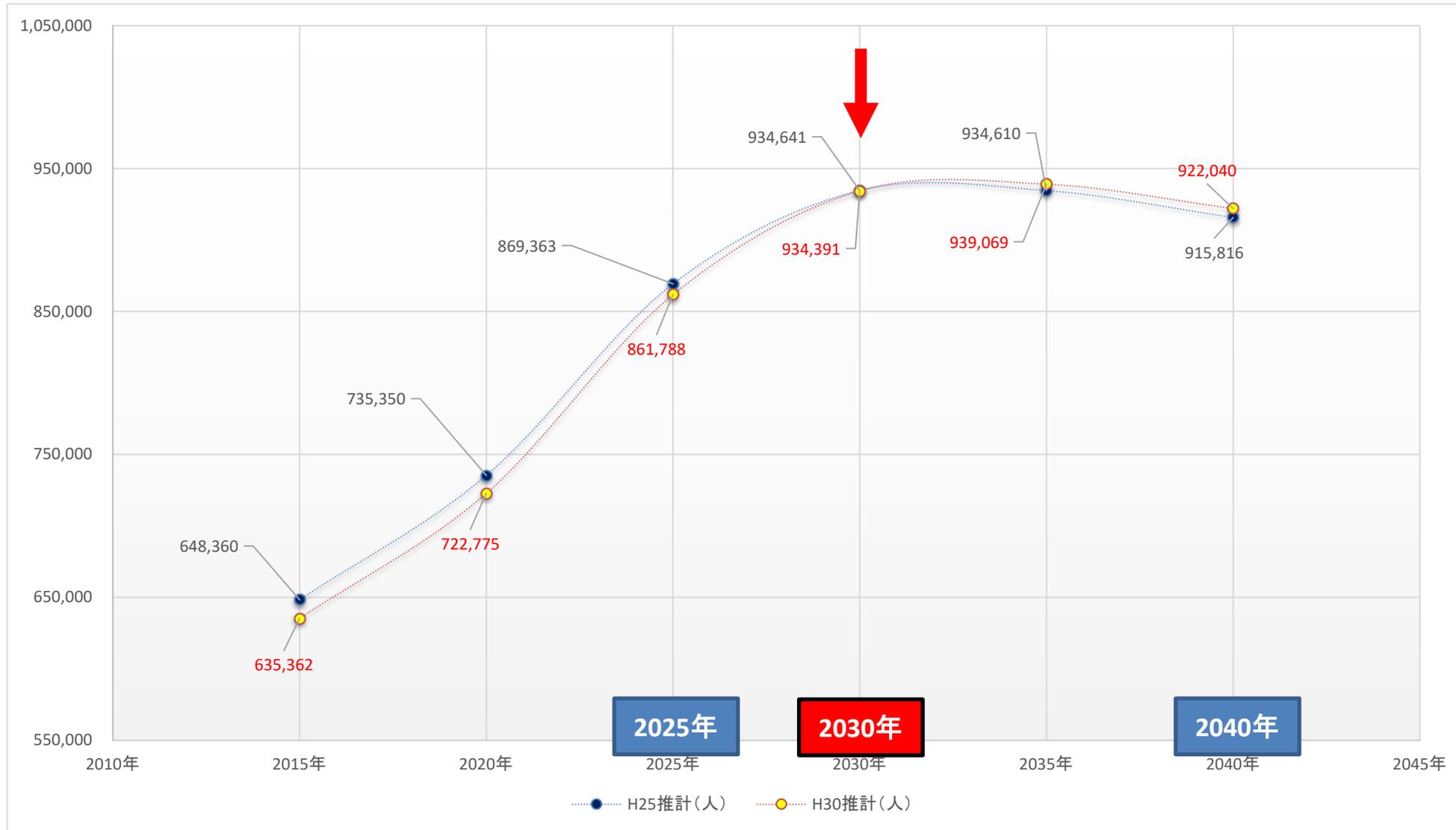


# KDBより集計した福岡県における訪問診療の診療圏 令和2年度

令和2年度 医療機関 所在地	保険者所在地														合計	県調査 R2年度 割戻推計
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女 筑後	有明	飯塚	直方・ 鞍手	田川	北九州	京築	県外		
福岡・糸島	9,794	497	113	850	11	47	8	20	19	12	9	57	3	337	11,775	15,258
粕屋	160	718	39	19	1	3	0	1	3	2	2	5	1	18	970	1,042
宗像	23	86	780	3	0	1	0	0	1	6	0	53	1	18	972	1,091
筑紫	213	38	3	1,460	30	60	0	2	7	2	1	5	0	73	1,999	2,397
朝倉	3	0	0	6	359	56	0	1	0	1	0	0	0	6	431	387
久留米	7	2	1	33	34	2,506	134	51	1	0	0	2	0	135	2,905	3,149
八女・筑後	2	1	0	1	0	22	614	14	0	1	0	0	0	4	658	632
有明	1	0	1	0	0	8	10	1,058	0	0	0	1	0	49	1,127	1,176
飯塚	11	5	1	2	0	1	0	1	1,221	106	90	14	1	11	1,470	1,685
直方・鞍手	1	2	22	1	0	1	0	0	18	586	60	113	1	4	808	730
田川	3	1	0	0	0	2	0	0	11	8	414	14	18	5	475	650
北九州	18	5	16	3	2	2	0	1	12	57	27	7,585	129	76	7,932	8,168
京築	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	7	26	761	30	827	856
県外	211	27	23	214	26	360	11	111	12	13	8	121	46	0	1,183	
合計	10,548	1,382	999	2,592	464	3,069	777	1,259	1,306	791	624	7,999	959	765	33,534	37,220
地域完結率	92.9%	52.0%	78.1%	56.3%	77.4%	81.7%	79.0%	84.0%	93.5%	74.1%	66.3%	94.8%	79.4%		85.0%	

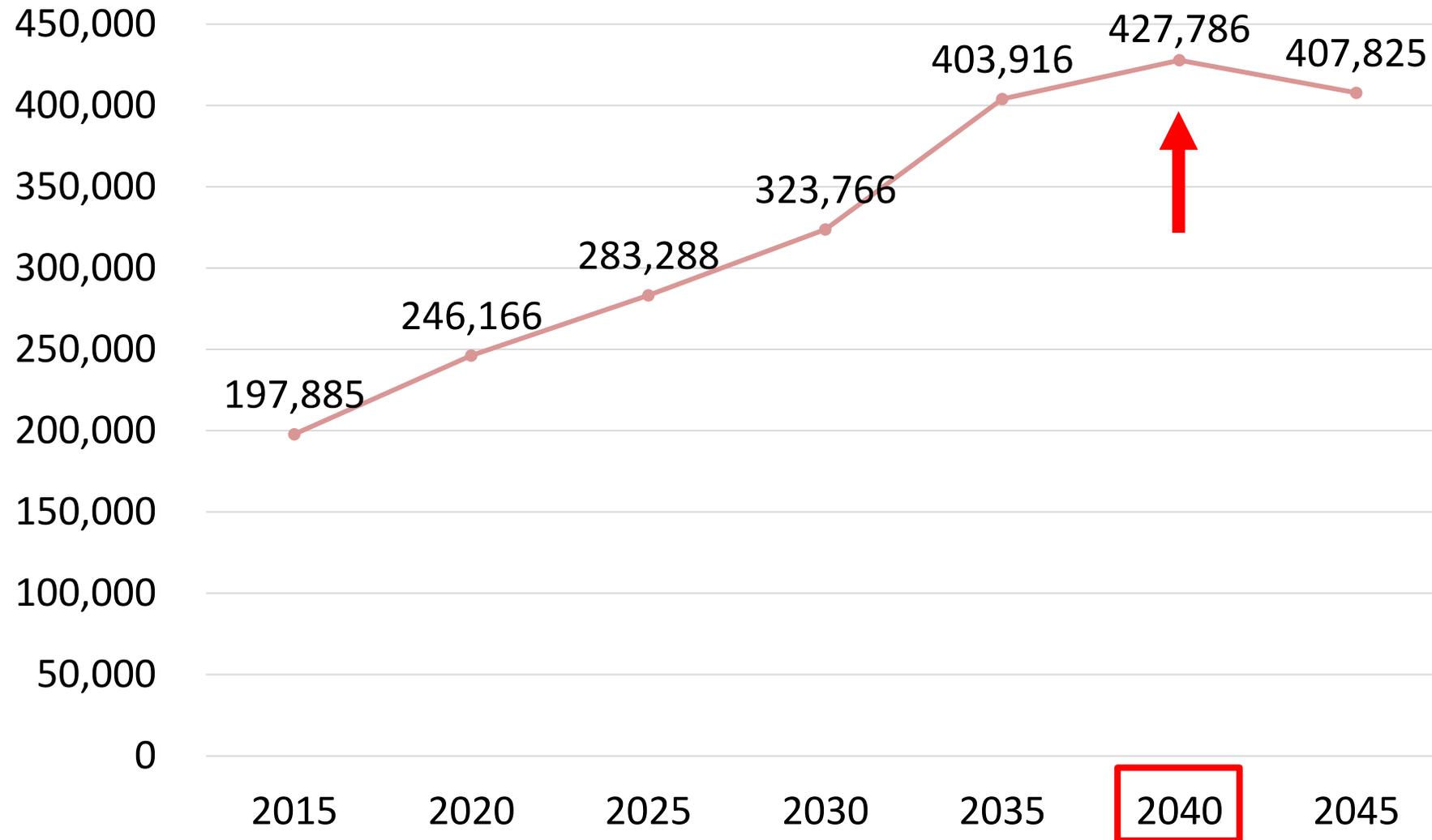
# 福岡県における 高齢者人口・訪問診療の将来推計

# 福岡県における75歳以上人口の将来推計



地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)より

# 福岡県における85歳以上人口の将来推計



地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)より

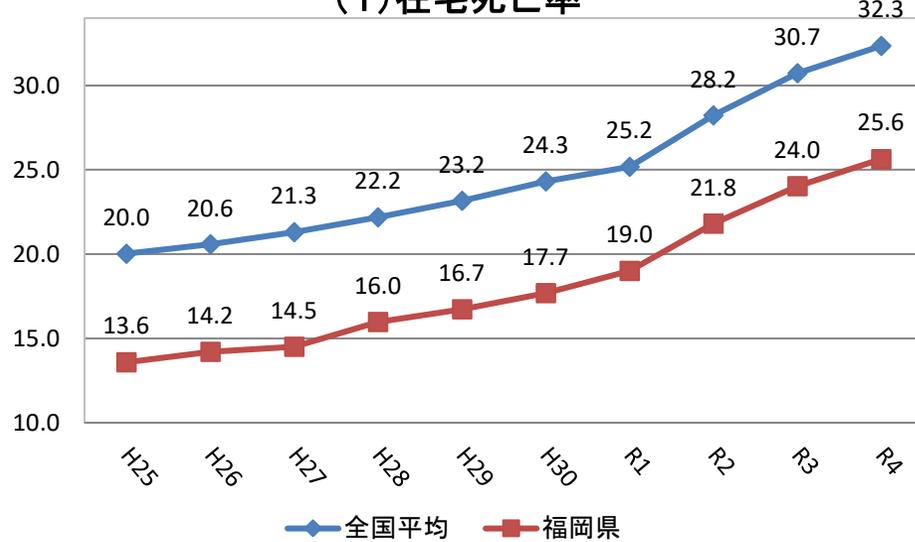
# 福岡県における訪問診療の整備目標(第8次医療計画)

	訪問診療患者数	市町村ごとの受療率を用いた推計 追加的需要も含む			
	医療機関ベース	医療機関ベース		患者居住地ベース	
	2023	2026	2029	2026	2029
二次医療圏	R5	R8	R11	R8	R11
福岡・糸島	17,381	21,140	23,306	18,415	20,295
粕屋	1,176	1,557	1,698	2,246	2,460
宗像	1,333	1,200	1,296	1,290	1,398
筑紫	2,667	3,252	3,594	4,028	4,447
朝倉	553	505	524	536	561
久留米	3,629	4,003	4,287	3,753	4,022
八女・筑後	785	878	918	1,034	1,086
有明	1,537	1,503	1,565	1,536	1,604
飯塚	1,832	2,084	2,182	1,850	1,939
直方・鞍手	1,360	1,375	1,445	1,262	1,325
田川	917	790	808	997	1,032
北九州	10,154	10,845	11,663	10,843	11,660
京築	786	1,173	1,244	1,301	1,382
<b>福岡県</b>	<b>44,111</b>	<b>50,305</b>	<b>54,529</b>	<b>49,091</b>	<b>53,209</b>

# 福岡県における 在宅死・在宅看取りの現況

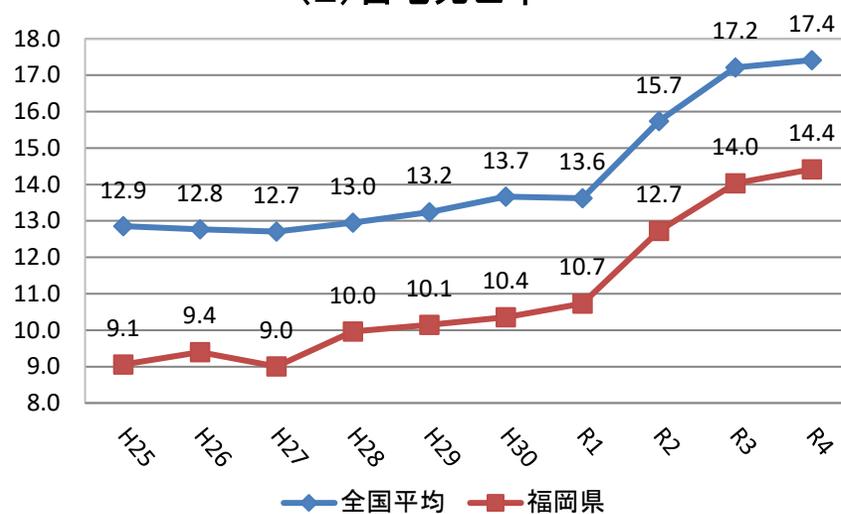
# 在宅死亡率の推移（福岡県）

(1) 在宅死亡率

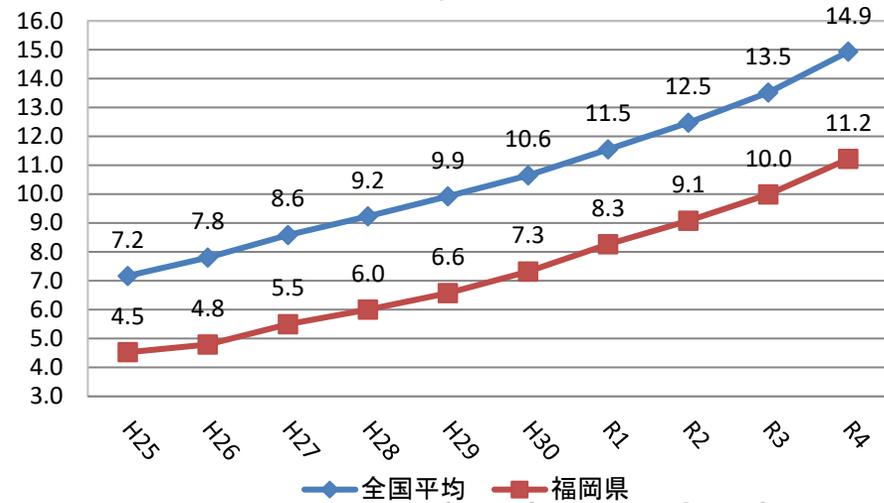


●福岡県の在宅死亡率は増加傾向にあるものの、全国平均と比較して低い。  
 ●R2、3年度は、自宅死亡率が大きく増加した。新型コロナウイルス感染症の流行によるものと推測される。

(2) 自宅死亡率



(3) 施設死亡率



# 福岡県における在宅死と在宅看取り

令和4年	在宅看取り数	警察取扱遺体数	計（在宅死？）	在宅看取り率？
	A	B	C=A+B	A/C（%）
福岡地区（15警察署）	3,464	2,877	6,341	54.6%
筑後地区（7警察署）	1,564	937	2,501	62.5%
筑豊地区（4警察署）	749	583	1,332	56.2%
北九州地区（10警察署）	2,224	1,897	4,121	54.0%
計	8,001	6,294	14,295	56.0%

A：訪問診療調査より

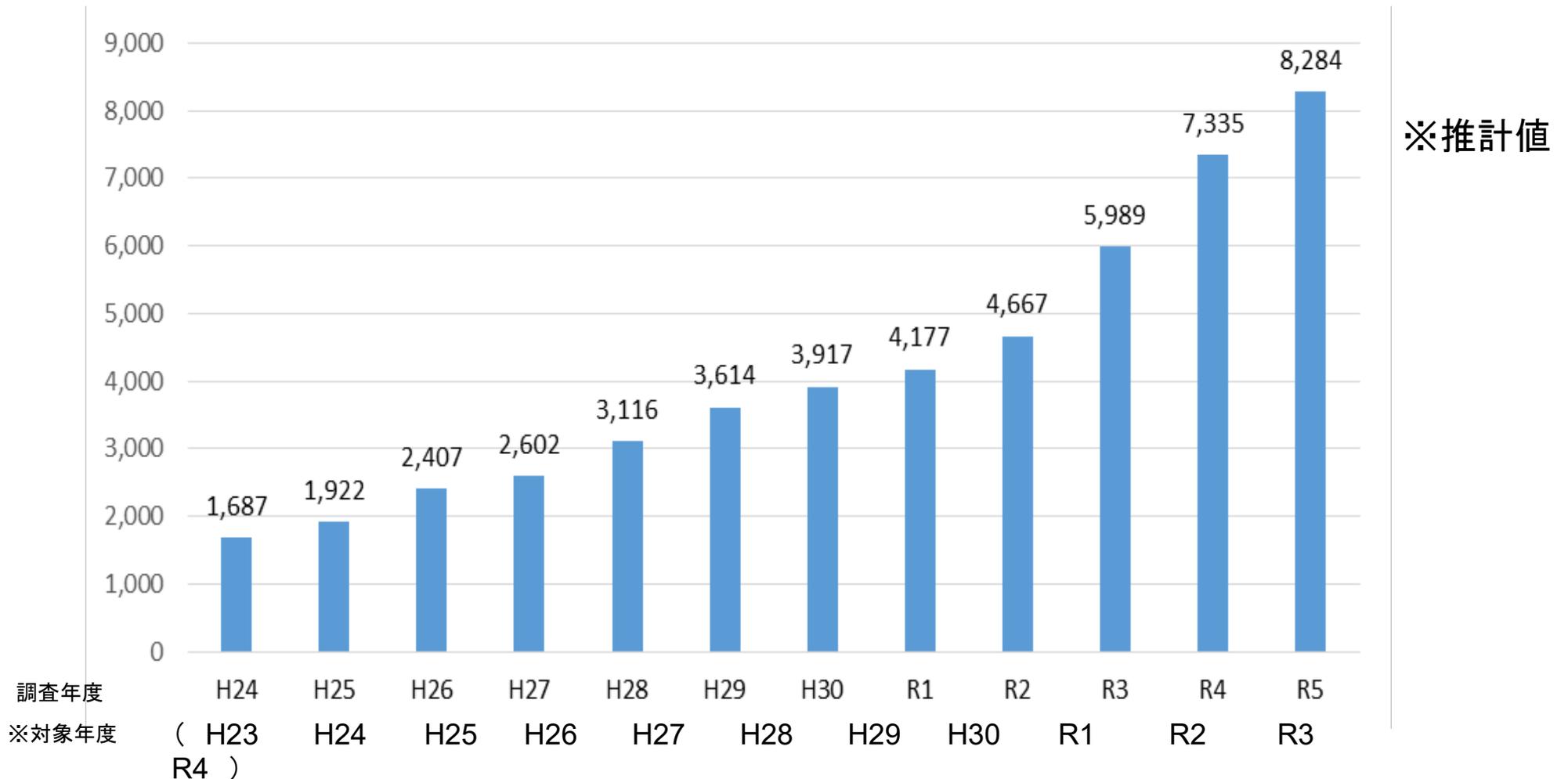
B：福岡県警報告書

	令和2年	令和4年
在宅看取り数（A）	5,989（推計）	8,284（推計）
警察取扱遺体数（B）	5,691	6,294
在宅死亡者数（D）	11,617	15,717

D：人口動態調査より

# 福岡県における在宅看取り患者数の年次推移

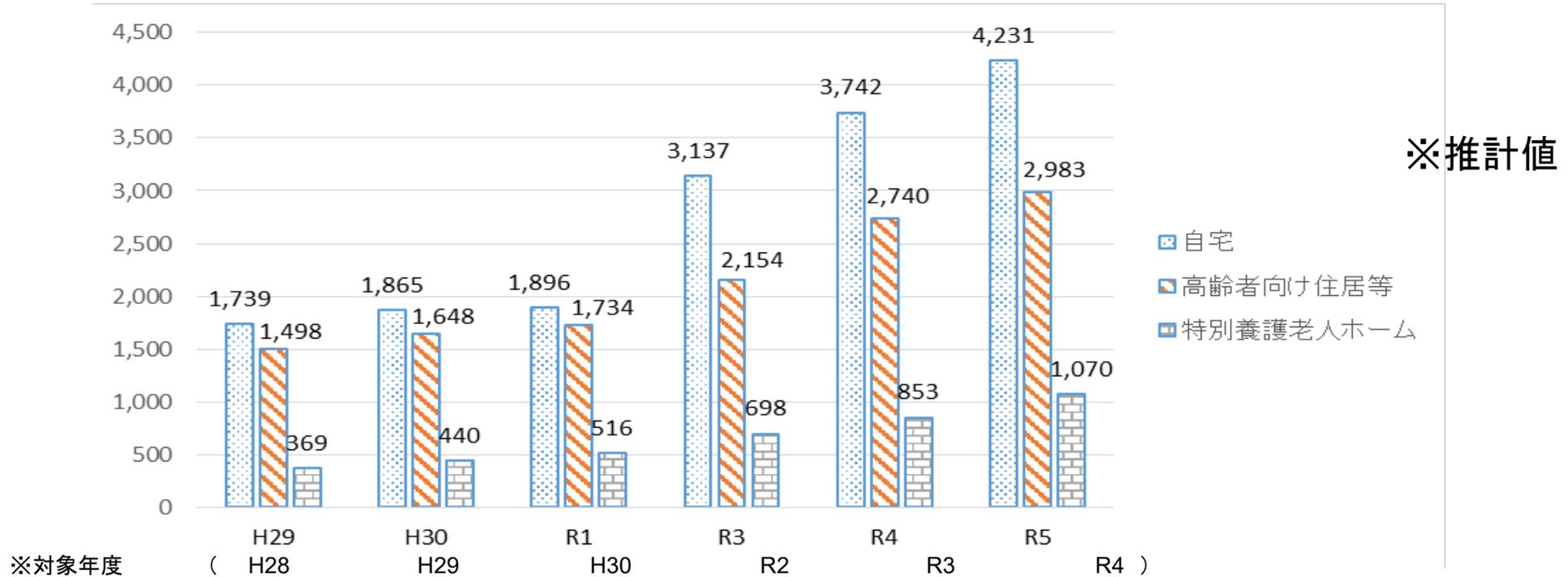
・看取り患者数(推計値)は、年々増加しており、令和3年度以降、大きく増加している。



※「在宅看取り患者数」とは、前年度4月1日～3月末の1年間に在宅で看取りを行った人数を指す。(H24～H28については、4月～7月までの4ヶ月に在宅で看取りを行った人数を3倍した人数を指す。)

# 福岡県における在宅看取り患者数の居所別年次推移

- ・自宅での看取り患者数は、令和元年度までわずかな増加傾向だったが、令和3年度から大きく増加しており、令和5年度(4,231人)は、令和4年度(3,742人)より約1.1倍に増加した。
- ・高齢者向け住居等の看取り患者数は、増加傾向であり、令和5年度(2,983人)は、令和4年度(2,740人)より約1.1倍に増加した。
- ・特別養護老人ホームでの看取り患者数は、増加傾向であり、令和5年度(1,070人)は、令和4年度(853人)より約1.3倍に増加した。
- ・令和元年度までは、自宅での看取り患者数は、自宅以外の看取り患者数を下回っていたが、令和3年度以降、自宅での看取り患者数が、自宅以外の看取り患者数を上回っている。



## 在宅看取り患者数(R5年4月～R6年3月の1年間)

	令和6年度(実数)
総数	7,938
自宅	3,731(47%)
自宅以外	4,207(53%)

福岡県における

在宅医療推進事業の今後の取り組み

## 在宅医療の今後の取り組み(R5年度調査より)

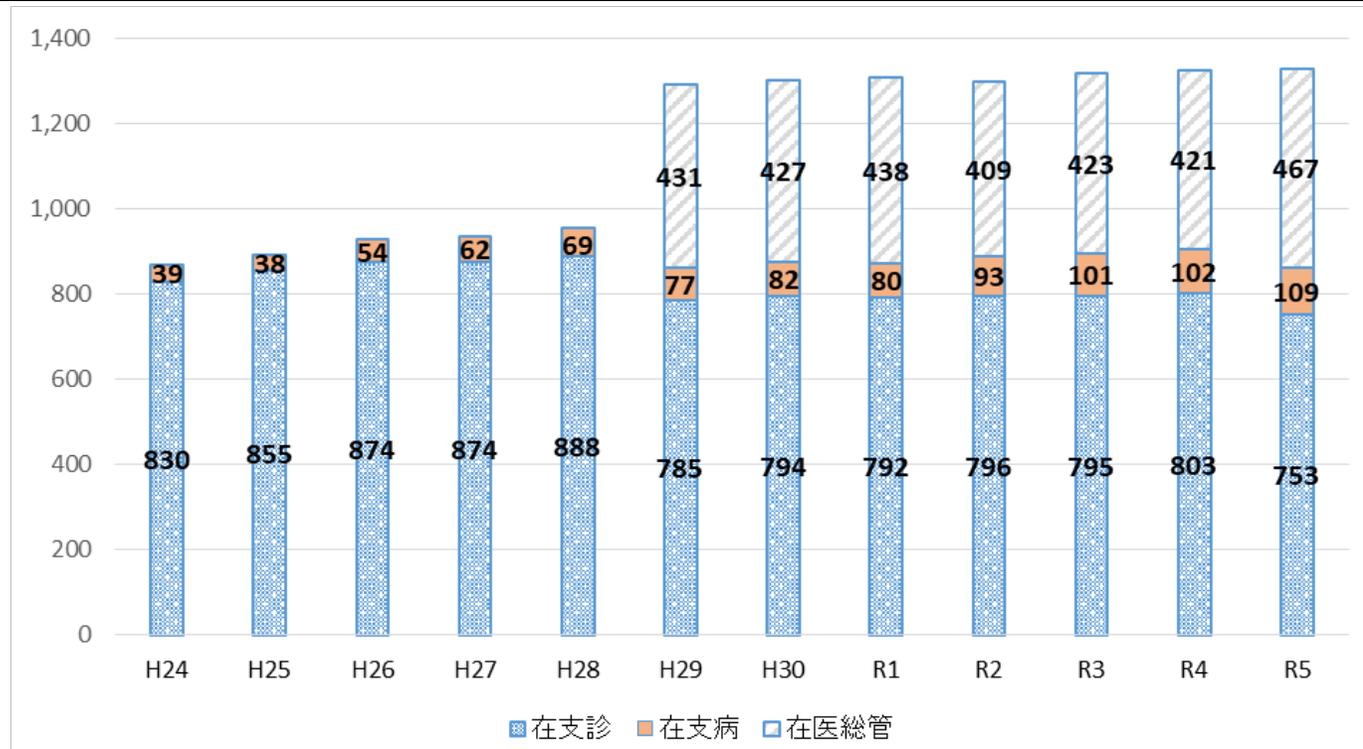
③必要に応じて新たな体制整備を講じたとして、6年後、令和11年(2029年)において、1か月当たりの訪問診療(実患者数)を何人程度にしたいですか。

	R5.5訪問診療患者数 (実数)	6年後の 訪問診療患者数	増加人数	増加割合
福岡・糸島	17,240	28,394	11,154	64.7%
粕屋	1,153	1,789	636	55.2%
宗像	1,417	2,161	744	52.5%
筑紫	2,642	4,128	1,486	56.2%
朝倉	571	1,045	474	83.0%
久留米	3,570	5,243	1,673	46.8%
八女・筑後	728	936	208	28.6%
有明	1,564	2,417	853	54.5%
飯塚	1,715	2,358	643	37.5%
直方・鞍手	1,317	1,808	491	37.3%
田川	927	1,242	315	34.0%
北九州	9,126	12,537	3,411	37.4%
京築	808	928	120	14.9%
計	42,778	64,985	22,207	51.9%

※本数値は、医療機関の所在地ベースで計算しています。

# 令和5年度 福岡県における在支診・在支病・在医総管届出医療機関数の年次推移

- ・在宅療養支援診療所数は、平成29年度以降、概ね横ばいで推移していたが、令和5年度(753医療機関)は、前年度より50医療機関減少した。
- ・在宅療養支援病院数は、概ね増加傾向にあり、令和5年度(109医療機関)は、令和4年度より7機関増加した。
- ・上記を除き、在医総管を届け出ている医療機関は、平成29年度以降、概ね横ばいで推移していたが、令和5年度(467医療機関)は、前年度より46医療機関増加した。



※実数

※「在医総管」は、平成29年度から調査対象としている。

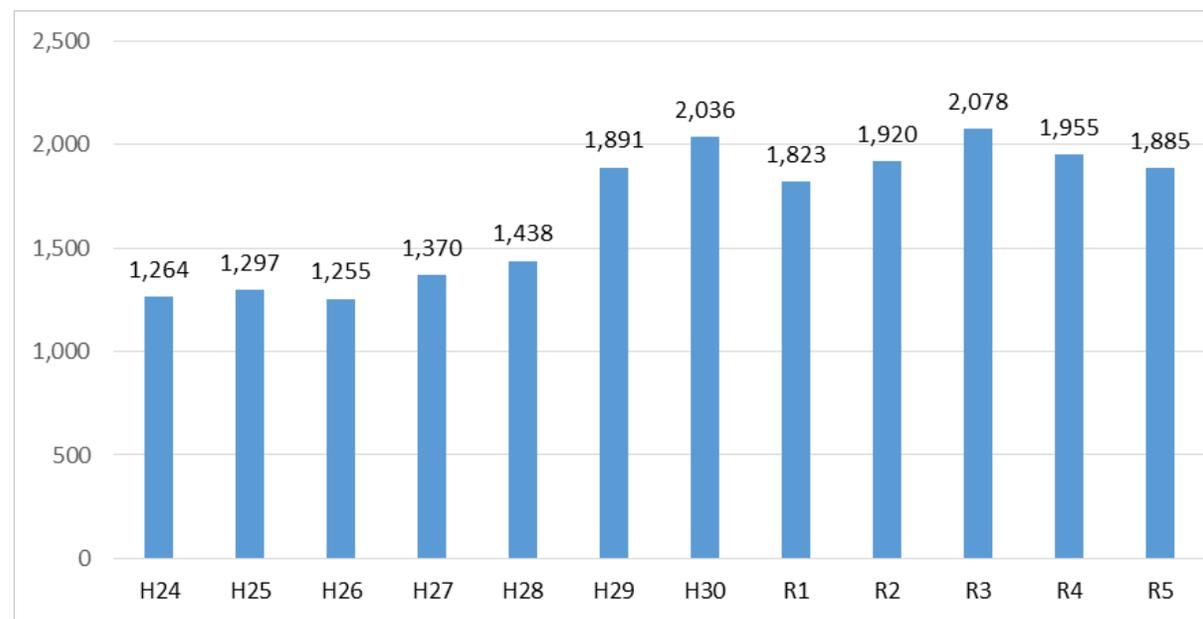
※「在医総管」は、県内の在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料届出施設のうち、在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院の届出を行っていない施設



# 在支診・在支病・在医総管に勤務する医師数 (年次推移)

※推計値

・医師数は、令和5年度(1,885人)は、令和4年度(1,955人)より3.6%減少しており、2年連続減少した。



※「在支診・在支病・在医総管に勤務する医師数」とは、常勤換算した医師数を指す。

※「在医総管」は、平成29年度から調査対象としている。

※推計値について

平成24年度～H28年度は2区分(在支診・在診病)、平成29年度は3区分(在支診・在診病・在医総管)に分けて推計し報告しているが、平成30年度からは届出を8区分(在支診1～3、在診病1～3、在医総管(診療所・病院))に分けて推計することとしており、年次比較をするため、平成24年度～28年度までの訪問診療患者数は6区分(在支診1～3、在診病1～3)、平成29年度は7区分(在支診1～3、在支病1～3、在医総管)に分けて推計し直している。

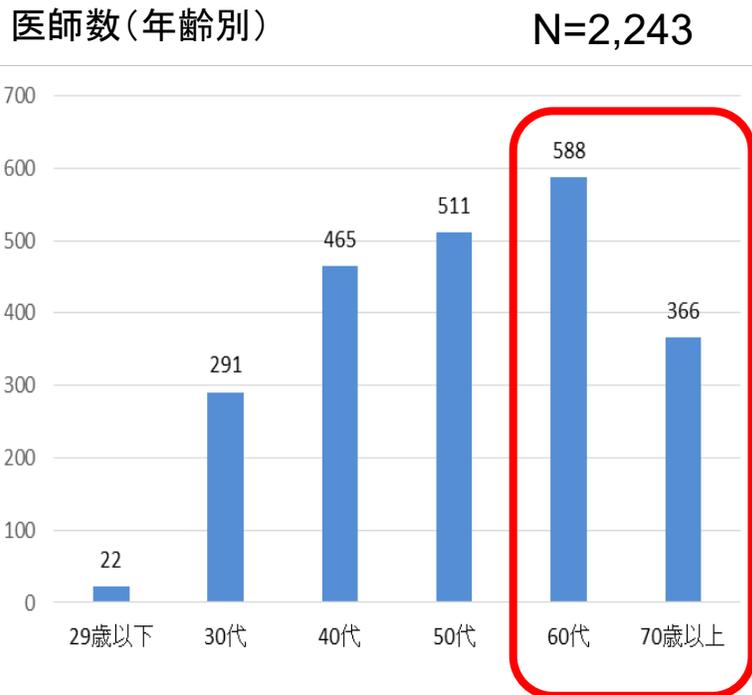
なお、平成29年度は在医総管を診療所と病院に分けて調査を行っていないため、7区分で推計し直している。

※病院については、在宅医療に対応している医師数のみを集計

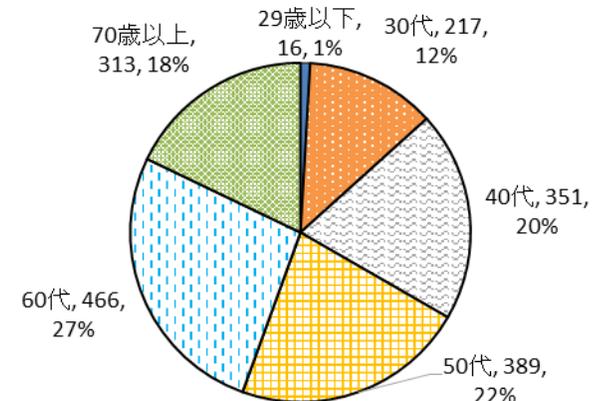
# 在支診・在支病・在医総管に勤務する医師数 (年齢別)

※実数

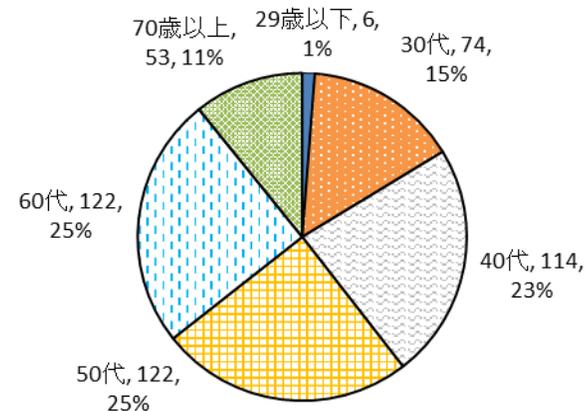
- ・医師数を年齢別にみると、最も多いのは、60代の588人である。
- ・診療所における60歳以上の医師の割合は45%、病院における60歳以上の医師の割合は36%である。



医師の割合(年齢別・診療所のみ) N=1,752



医師の割合(年齢別・病院のみ) N=491



※医師数は、常勤・非常勤の医師の実人数を合計したものの。

# 福岡県における在宅医療に係る課題 医療機関数 令和5年度調査より

R4	R5	医療機関数
在支診	在支診	724
在医総管	在支診	8
—	在支診 ※新規	21
在支病	在支病	98
在医総管	在支病	2
—	在支病 ※新規	9
在支診	在医総管	53
在支病	在医総管	3
在医総管	在医総管	400
—	在医総管 ※新規	11
在支診	— ※廃止又は在宅医療をやめた等	26
在支病	— ※廃止又は在宅医療をやめた等	1
在医総管	— ※廃止又は在宅医療をやめた等	11



系統別	医療機関数
新規で在支診・在支病	30
新規で在医総管	11
在医総管→在支診・在支病	10
在支診・在支病から変更なし	822
在医総管から変更なし	400
在支診・在支病→在医総管	56
在支診・在支病から廃止又は在宅医療をやめた等	27
在医総管から廃止又は在宅医療をやめた等	11

## 訪問診療実施施設数

	令和5年6月	令和6年8月	増減
在宅療養支援診療所	753	779	+26
在宅療養支援病院	109	125	+16
在医総管(診療所・病院)	467	458	-9
合計	1,329	1,362	+33

# 第8次医療計画と

地域における在宅医療に必要な連携を担う拠点

## ①地域支援事業(在宅医療・介護連携推進事業)(実施:市町村(郡市区医師会))

平成26～29年度まで地域医療介護総合確保基金(医療分)を活用し、郡市区医師会において実施された「在宅医療連携拠点整備事業」について、平成30年度から全市町村において介護保険を財源として、在宅医療と介護の一体的な提供の実現に向けて、医療と介護の関係者をつなぎ、在宅医療・介護連携の推進のために、医療・介護関係者の資質向上や連携に必要な機会の確保を図ることを目的に実施されている。

## ②福岡県在宅医療提供体制充実強化事業(郡市区医師会)

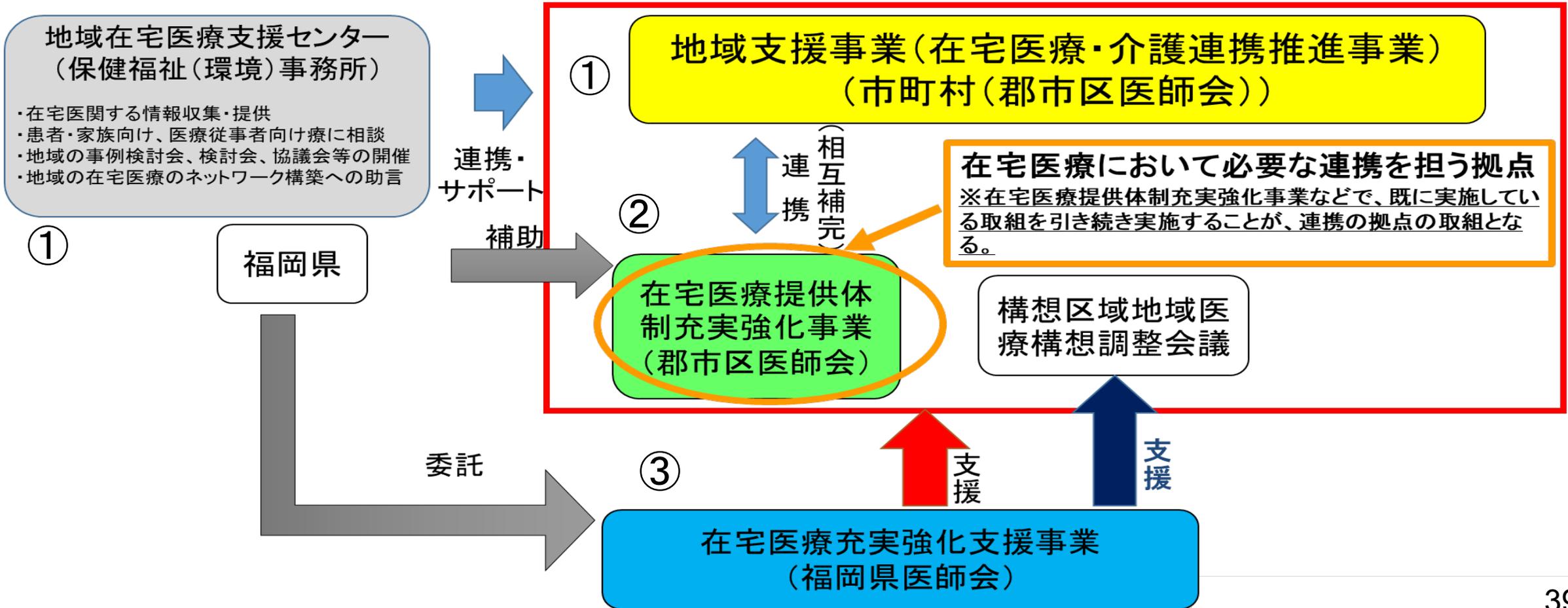
地域医療介護総合確保基金(医療分)を財源として、県の補助事業として郡市区医師会が実施する。各地域の休日夜間や容体急変時における診療体制の強化、在宅医を導入するための取組みを通じて在宅医療提供体制の充実を図ることを目的とする。

## ③福岡県在宅医療充実強化支援事業(福岡県医師会)

県の委託事業として県医師会が実施する。郡市区医師会が①や②において実施する協議の場や研修会及び地域医療構想調整会議等において県医師会役員等が出席・助言を行うなど、各地域の在宅医療提供体制充実に向け支援を行う。

# 「在宅医療において必要な連携を担う拠点」と関係機関

- 関係機関で一体的に各地域における在宅医療の連携体制を構築していく。
- 「在宅医療において必要な連携を担う拠点」として位置付けられた郡市区医師会は、地域における退院時から看取りまでの包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスの提供等に係る体制構築における中心的な役割を担う。



# 令和5年度福岡県在宅医療充実強化支援事業および第8次医療計画に向けて

- 第7次医療計画では福岡県での在宅医療は概ね国の指針通りに進んでいます。
- 在宅での看取りが予想以上に増えており、地域医療構想の中で看取り体制も再考が必要です。
- 令和6年度より働き方改革が本施行されます。特に救急医療の供給量はかなり減る予測です。
- 福岡県には一般病床は65,000床しかありません。在宅医療はもうすぐ50,000人を越えます。
- バックベッドは有限です。各地域も地域医療構想の一環として体制整備を再考して下さい。
- 地域によっては二次医療圏を越えての訪問診療が多く行われています。
- それぞれの地域特性にそった診療圏(圏域)を意識した施策が求められています。
- 令和5年度以降小児在宅医療の重要性が大きくなってきます。
- 小児期のみならず移行期(トランジション)医療の窓口、マッチングを地域で進めて下さい。
- 医療介護従事者の人材不足、高齢化が深刻になってきます。
- 2040年に向けどうしたら乗り越えられるのか医療・介護連携の再考が求められています。

- 在宅医療は診療所の専有業務ではなくなりつつある。  
地域によっては、病院の在宅医療部門をさらに充実させなければならない地域も出てきます。  
在宅医療も地域医療構想の一環として体制整備を再考して下さい。
- **第8次医療計画、新たな地域医療(介護)構想**に向け、新たな視点が必要になってきます。  
慢性期病床、高齢者施設、在宅医療、高齢者救急を一体として再考する必要があります。  
在宅医療は今後、地域医療・介護構想として体制整備を進める必要があります。
- それぞれの地域特性にそった診療圏(圏域)を意識した施策が必要です。  
特に隣接医師会間、二次医療圏間の情報交換・共有が必要になってきます。
- 小児在宅医療の重要性が大きくなってきます。

福岡在宅医療 事始め  
～さあ始めよう在宅医療～

常任理事 辻 裕二